

拝啓

まだまだ暑さが厳しい日々が続く今日この頃、先王方皆様ににおかれましてはますますお忙しい日々を過ごされていること存じます。

先王方には2年間、大変お世話になりました。無事に卒業となりましたが、その間 沢山のお話を聞いて頂き、本当に「支えて頂いた」という感謝の気持ちがいっぱいです。

2年前に初めてご連絡させて頂いた頃は、次男は中学受験を終えて、本来なら新しい学校で部活も始まり楽しく新しい王活をスタートさせているであろう中1の6月でした。

以前より、4才上の長男が、中学2年生の頃、短期間でしたが、学校を休んだり、辞めたりということがありました。その前後より「何か自分の対応が間違っているのかもしれない」、「でも何をどう変えたら良いのかわからない」という思いは私の中で常にあり、学校カウンセラーさんを始め、小中学校の担任の先生、保健の先生、(紹介して)地域のリハビリセンターの心理士さん、周囲の不登校経験者のママさんたち、本当に沢山の方々に会ってお話をきいて頂いたり、アドバイスを頂いたりしておりました。不登校関係の本も沢山読みました。その中の1冊ほどは「元氣になるまで待ちましよう」「学校行かなくても別の道は沢山ある」「本人を連れてきてくれたら、お話聞ける

んたけど”という内容でした。そのほかに、自分でも対応を変えて
また、子どもと話す時間をとってほしいとつづいていました。

しかし、長男が高1の秋に学校中退することになり、小6の
次男も受験直前の年末頃から五月雨登校が始まり、何と
か受験をのりきった矢先、「学校イヤだ」「行かない」と完全
に不登校となりました。

当初“元気にふるまで待つ”と思っていた私達夫婦でしたが、
中学を兼がっていた長男が、高校中退後も当時の友人たちと
は連絡をとりあっているのを見たとき、やはり学校は行かた方
がいいだろうし、今しかできないことも沢山あるだろうし、本格的
に今私自身が変わらないと何も変わらないんじゃないかと
思い、ネットで情報検索し、ペアレンツキャンプのホームページ
にたどり着きました。

いわゆる“アウトリーチ型”にアプローチして頂けると、“学校には本
当は皆行きたくないと思っている”、という2点が、当時の私自身の中
で、もっと強く求めていたことだったと、親が変われば子ども
も変わる、という言葉に、ずっと“私が変わらないといけない”
けど、どうしたらいいかわからない”とモヤモヤしていたところが
ぴったり当てはまり、不登校10日目には最初のX-1にて“連
絡をとらせて頂きました。

二支援頂いた2年間も、なかなか自分も夫も変わりきかず、
夫婦お互いに反省したり、ヤンカにもほりながら、子どもへの対応
を学ばせて頂きました。担当の江先生には本当に沢山の話を
聞いて頂き、通る回の報告の時間は、この時間がたか
たら、自分が途中で折れてしまうのではないかと不安を、いそ
ぎ一掃して頂ける時間でした。本当に感謝しております。

結果として、中1の9月には、一度自ら登校を再開したものの、
10月から再度の完全不登校。3学期に先生方の力を借り
て、中1の3月からは元気に登校をしております。

正直、中2・中3とクラス替えがあるたびに、不登校へのきっか
けがあるのではないかとハラハラすることもありましたが、何かがあ
ても、乗りこえるのは本人の問題、問題解決の力を付けさせる
のが親の課題、と冷静に考えることができるようになりました。
登校は継続できてはいますが、現在中3の思春期、気持ち
ちが不安定な時も沢山あります。正直言って、そのたびに、
不登校だった時間と気持ちを思い出し、不安になることも
あります。

ただひたすらに、先生方に頂いた指導や励ましを思いながら、
子どもに向かう毎日です。

次男自身は「先王方のお話や出会いがなければ、あのままでは
なかった。皆を裏切れないから学校行く。」と、自分なりに
反省し、感謝しているようです。こういった言葉と言える息子と、
これから మరి情じて見守っていくと思います。(先王方と出会えて
本当に良かったと思っているのは私達夫婦の方なのだと思います。)

なかなかうまくまとまらずに申し訳ない文章となりましてが、
日々、登校する姿を見送ることが、今は本当に幸せです。
“ずっと待つ”という選択をせず、的確なアドバイスをいつも頂け
たペアレンツキャンプの先王方には、感謝の気持ちでいっぱい
です。先日も長男から「お母さんが本当に変わったと思う、良か
った」と言われ、沢山の育てに小遣んできたけれど、正しい選
択肢を選ぶことができたのかな、とほっとしています。

2年間、本当にありがとうございました。ペアレンツキャンプの先王方の
活躍で一人でも沢山の子どもたちが学校へ行くという希望を
持てますので、これからもお祈りいたします。

大変お忙しい毎日と思いますが、皆様、お保重下さい。

敬具